

平成 28 年度 宮島学センター企画展示報告

- 期 間：平成 28 年 8 月 22 日～9 月 9 日
- 会 場：県立広島大学広島キャンパス図書館
- テーマ：「弥次さん北さんの宮島参詣—東海道中膝栗毛には続きがあった!?!—」



江戸時代後期の人気作家、十返舎一九の代表作『東海道中膝栗毛』はベストセラーとなり、次々と続編が出版されました。初編から十二編まで 25 冊の続編のうち、二編<文化 8 年（1811）>が宮島参詣をテーマとしています。

平成 28 年度の図書館企画展示は、この『続膝栗毛二編 宮島参詣』について学んだ国際文化学科の 3 年生 16 名が中心となって準備し、宮島学センターが所蔵する絵図などの資料とともに、江戸時代の宮島や旅の様子をさまざまな角度から紹介しました。

展示ケースごとの内容は次のとおりです。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 十返舎一九 | ⑨ 狂歌 |
| ② 『東海道中膝栗毛』とは | ⑩ 弥山の宮めぐりと案内人 1 |
| ③ 『続膝栗毛二編宮島参詣』の紹介 1 | ⑪ 弥山の宮めぐりと案内人 2 |
| ④ 『続膝栗毛二編宮島参詣』の紹介 2 | ⑫ 弥次北の旅路 |
| ⑤ 旅の必需品 | ⑬ 金比羅参詣 |
| ⑥ 船旅と瀬戸内の名所 | ⑭ 宮島の宿 |
| ⑦ 鞆の遊女町 | ⑮ 江戸時代の定番宮島みやげ |
| ⑧ 宮島の掟 | |

期間中には学生によるギャラリートーク（展示解説）を 3 回おこないました。「学生自身も楽しんで読んだことが伝わる解説だった」、「初々しく、わかりやすい説明だった」、「図が小さくて見づらい箇所も、説明があったので良かった」などの感想が寄せられました。



ギャラリートークの様子